

令和7年度 自己評価集計結果

幼稚園型認定こども園
 柏ひがし幼稚園
 自己評価回答：教諭12名

A：とてもそう思う B：どちらかといえばそう思う C：どちらかといえばそう思わない D：そう思わない

I 保育目標・保育方針	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 園の保育目標や保育方針は分かりやすい。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
② 園の保育目標が子どもたちの中に生きている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
③ 園の保育目標や保育方針は、本園の園児にとってふさわしいものになっている。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
④ 園の保育目標は、園の創立の理念を生かしている。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%

<<園の保育目標>>

- ・ 健康で 明るい子
- ・ 約束を守り お友達と仲良く遊べる子
- ・ 物事に感謝できる 心豊かな子
- ・ 思いやり深く 心の広い子

<<園の保育方針>>

- 大いなる愛情 「愛されることより、愛することを学ぶ」**
- 思いやりの心 「他人の喜びを自分の喜びと受け入れる心」
 - 教育形成の土台作り 「生活習慣・しつけの習得」
 - 知恵の心 「今、何をすべきか判断できる正しい心」

II 保育計画	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 園の保育計画は、保育目標・保育方針を生かして作られている。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
② 子どもたちの年齢ごとの保育計画がある。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
③ 園の保育計画は、必要に応じて見直されている。	10	83%	1	8%	1	8%	0	0%
④ 園児のしたいことや、興味のあることを取り入れられるようになってきている。	11	92%	1	8%	0	0%	0	0%

III 保育環境	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 室内の温度、湿度、換気、照度等の適切な管理や感染症拡大防止策に務め、衛生的な保育環境を保っている。	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
② 園舎内や園庭は、園児が活動しやすい安全な環境を常に保持できている。	3	25%	9	75%	0	0%	0	0%
③ 安心できる人的・物的環境をつくり「感覚」の働きを豊かにするように配慮している。	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
④ 屋外での活動の場があり、園児が安全に活動しやすい環境を整えている。	5	42%	7	58%	0	0%	0	0%
⑤ 年齢の異なる園児が、触れ合えるような環境構成をしている。	7	58%	4	33%	1	8%	0	0%

IV 保育内容・方法	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 全ての園児について、一人ひとりの最善の利益とその人権を尊重している。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
② 園児にわかりやすい温かな言葉遣いで穏やかに話をしている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
③ 基本的な生活習慣は園児の発達を考慮し、家庭と連携して状況に応じて対応している。	11	92%	0	0%	1	8%	0	0%
④ 身近な自然に触れる機会を用意し、季節感や豊かな感性を育む考慮をしている。	7	58%	4	33%	1	8%	0	0%
⑤ 園児同士の関わりで、順番を守るなどの社会的ルールを身に付ける配慮をしている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%

V 食育	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 食材に興味を持ったり、苦手な食べ物にも挑戦しようとする工夫をしている。	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%
② 食材に興味を持ち、名前を覚えるような声掛けができた。	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
③ 食事のマナーを知り、守りながら楽しく食事ができる環境をつくっている。	8	67%	4	33%	0	0%	0	0%
④ 野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感が得られるようにした。	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%

VI 保育士の役割・質向上	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 一人ひとりの園児をよく観察し、個性を生かすとともに、平等に接している。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
② 全ての園児に平等に接するように心がけている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
③ 園児にわかりやすい温かな言葉遣いで話をしている。	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
④ 自己研修や機関研修に前向きに取り組んでいる。	4	33%	6	50%	2	17%	0	0%
⑤ 保護者との信頼関係ができています。	6	50%	6	50%	0	0%	0	0%

VII 子育て支援	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 園児の登降園時や電話、連絡帳を通して、園児の様子を保護者に伝えている。	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
② 保護者の子育てについての相談にのっている。	8	67%	3	25%	1	8%	0	0%
③ 子育て支援の内容について全員で話し合いをしている。	4	33%	7	58%	1	8%	0	0%
④ 保育参観やその他の行事を通して、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている。	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%

VIII 地域住民や関係機関との連携	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 地域の人々とのあいさつや交流を大切にしている。	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
② 地域の人が、園のことに興味を持ったり、園の方針を理解したりする工夫をしている。	3	25%	7	58%	2	17%	0	0%

IX 運営管理	A	割合	B	割合	C	割合	D	割合
① 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%
② 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への対応ができる体制がある。	9	75%	3	25%	0	0%	0	0%
③ 保護者の意見をしっかりと聞き、適確に報告・連絡・相談をしている。	10	83%	2	17%	0	0%	0	0%
④ 園の施設の安全点検、衛生管理をしっかりと行っている。	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
⑤ 事故災害時のマニュアルがあり、職員がすぐに見ることができる場所にある。	7	58%	5	42%	0	0%	0	0%
⑥ 緊急時のために医療機関等の連絡先が明示されている。	12	100%	0	0%	0	0%	0	0%

1. 今年度、特に力を入れて取り組んだ事や成果を上げた事は何ですか？

- ・ 事前準備を早め早めに行うように心がけた。
- ・ 子どもたちの「やりたい」「やってみたい」に着目して保育環境を準備し、学年で見直しを図り取り組んだ。
- ・ 子どもたちと一緒に活動を楽しむようにした。
- ・ 子どもたちが楽しいと思える幼稚園の雰囲気づくりを念頭に置いて取り組んだ。
- ・ 一人ひとりの子どもへの対応については、保護者の方との連携を大事にしてきた。
また、どの保護者の方とも定期的に電話や連絡ノートで交流をして、信頼関係が築いていけるように努力した。クラスの子どもたちが団結して、仲良く過ごしていくことのできる全体の雰囲気づくりを大切に保育展開していくことが出来たように感じる。
- ・ 子どもたちが安心して登園できるようなクラスの雰囲気づくりができた。
- ・ 後輩職員が安心して学べる環境を作り、傾聴の姿勢を持つようにした。
- ・ クラスのまとめ。底上げ。
- ・ 学年に合ったカリキュラムを考え、それに沿って進めることができた。
- ・ いろいろなクラスの様子を見て現状把握しようと思い、意識するようになった。
- ・ クラスで子ども一人ひとりに寄り添いながら、その子に合った声かけ等を行うように心がけた。
- ・ 自分が担当した係で、先を見越して行動ができるよう意識をした。
- ・ 子どもらしさが出るよう、言葉掛けや安心できるような環境をつくるように留意した。少しずつ一人ひとりが自分の個性を出すことができるようになってきたように感じる。
- ・ 一人ひとりに寄り添った保育を心がけるようにした。

2. 今年度、なかなか成果を上げることができなかった事がありましたか

- ・ やらなければいけないことの、優先順位をつけて行うことが難しくバタバタしてしまうことが多かった。
- ・ 同じ学年や係の先生との連携が不十分なことがあった。
- ・ 主任の補佐が思うようにできなかった。
- ・ 保護者の方からの相談に対しての受け答えが難しく、保護者の方に適切なアドバイスや提案がうまくできなかったように感じた。また、支援が必要な子どもがいる中でのクラス運営が難しく、時間に余裕のない保育になってしまうことがあった。

- ・ 一人ひとりの子どもたちとゆっくり遊ぶことができなかった。
- ・ 活動に追われてしまい、遊ぶ時間の確保がとれない時期があった。
- ・ バス通園の子など、なかなか直接会うことができない保護者の方ともっと会話ができる工夫をするべきだった。
- ・ 食事に関して苦手なものも食べていけるように声かけをしてきたが、ほぼ皆無であった。
- ・ 係で先を見越して行動ができるように意識したが、確認しながら行わなければならないことが多く、もっと係の動き方・準備物等教えてもらって行うのではなく、自分で動けるようにしたい。
- ・ フリーとしての全体の動きが思うようにできなかった。

3. (2) について、来年度はどのように取り組もうと思いますか

- ・ 先を見据えてやるべきことを片付けていきたい。余裕を持って行動ができるように考えていきたい。
- ・ 伝える、相談することを怠らないようにする。
- ・ 積極的に話し合う。
- ・ もう少し積極的に自分のできることを主任に聞いて手伝えるようにしたい。
- ・ 保護者から受けた相談に対して、一人で悩まずにいろいろな先生に相談をしていきたいと思う。また、より一人ひとりの子どもの様子を観察して、その子どもに合った保育や言葉掛けを考えていきたい。一日の保育の流れをもう一度しっかりと計画し、子どもの姿を想定しながら余裕をもった保育を展開していきたい。
- ・ 活動を長期スパンで考え、追われてやるのではなく楽しみながら、また、遊ぶ時間を取れるような計画を立てるようにしたい。
- ・ 声かけだけでなく、もっと興味を持てるような工夫をできるようにしたい。
- ・ 今年度行った係の動きを、改めて自分で振り返り、来年度には自分で行動できるよう意識する。
- ・ 保護者の方と丁寧に向き合い、時間をかけて伝えていけるよう、引き続き心がけていきたいと思った。
- ・ 保育のサポートをしながらも、フリーとして全体の動きができるよう、積極的に取り組んでいきたい。

以上

学校関係者評価

(評価対象 令和7年度)

令和7年度評価委員

富勢西小学校校長、布施新町(自治体)町会長様、柏ひがし幼稚園保護者様 (3名)

開催日時 令和8年2月25日

幼稚園型認定こども園柏ひがし幼稚園

柏市立富勢西小学校 校長先生

幼稚園型認定こども園

柏ひがし幼稚園 園長 寺山 浩美 様

はじめに

いつも大変お世話になっております。今年度も園の子どもたちの活動や職員の皆様の子どもたちに対する真摯で温かい姿勢を拝見させていただき、大変感心しております。

今年度は、「クリスマス祝会」のみの参観となり、他の行事に出席の都合がつけられず、申し訳ございませんでした。参観が思うようにできなかつたため、今回は、事前に頂戴いたしました、「保護者アンケートおよび職員自己評価の集計結果と自由記述」をもとに、園の教育活動全般について「強みと課題」「改善の方向性」を考えさせていただきました。

全体として、子ども理解・安全管理・職員の温かな関わりに関する評価は極めて高く、一方で情報共有・行事運営・日常の可視化については改善の余地があるように思います。詳細を以下に記述しましたので、参考にさせていただければ幸いです。

評価全般について

① 保護者からの高い信頼

- 「幼稚園生活を楽しんでいる」：A87%、B11%
- 衛生管理、防災、不審者対応など安全面での肯定は 90%以上
- 多くの自由記述に、「丁寧」「温かい」「よく見てくれている」との信頼の声が見られます。

② 職員の意識は高く、理念共有も十分

- 保育目標・保育方針に関する項目はほぼ 100%肯定的意見です。
- 子どもに興味を反映した計画づくりや、一人ひとりへの対応など、自園の教育観が実践に根付いていると感じています。

③ 改善余地がある領域

- 連絡手段の混在（紙・連絡帳・マチコミ等）による保護者の混乱があるようです。
- 写真・動画配信の質・頻度／参観機会の不足 が挙げられています。
- 行事の量・時間配分・撮影ルールなど、忙しい保護者が感じる負担感が一部に見られます。
- 職員側は優先順位付け・連携・研修・遊び時間の確保等を課題として自己認識しているようです。

項目別評価について

I. 保育目標・保育方針

職員の理解・浸透度は非常に高く（100%肯定），理念が保育実践に反映されています。自由記述では「温かい雰囲気」「思いやりの姿勢」など，目標の具現化を示す言葉が多数見られます。

▲強み

- 保育方針の明確さと職員の共通理解ができています。
- 子どもや家庭が“園らしさ”を実感できる場面の多さを感じているようです。

▼課題

- 方針自体への不満はありませんが保護者への発信機会にはばらつきがあるようです。

△改善の方向性

- 一つの例ですが，行事・おたよりで「方針がどのように実践されたか」を短い文章で紹介すると，保護者理解がさらに深まるのではないのでしょうか。

II. 保育計画

園内部の計画性は極めて高い（100%）一方で，保護者側からは行事や準備物の案内タイミングに関する要望が複数あります。

▲強み

- 子どもの興味や発達段階を踏まえた計画の作成をしています。
- 必要に応じた計画の見直しもきちんと実施されています。（A83%）

▼課題

- 「終了時刻を正確に」「準備物の締切が急」「年間予定を早めに」という声が見られました。
- 「内部計画は非常に良いが外部への提示にズレ」が生じているようです。

△改善の方向性

- 年間カレンダーの早期提示を心がけていくことが必要かと思います。
- 締切は，「最低 1 週間前案内」を標準化にしたらどうでしょうか。

Ⅲ. 保育環境

保護者評価では安全・衛生面が非常に高いです。（90%以上肯定）一方職員は、「さらに改善できる」という前向きな課題意識を持っているところが素晴らしいと感じました。

▲強み

- ・ 防災／防犯訓練が充実しています。子どもたちの命を守ることが優先順位の一番として、職員の中で意識されています。（保護者自由記述でも高評価）
- ・ 温度・換気・照度の管理の適切さが挙げられています。これも、子どもたちの健康・命に係わる大切なことだと思います。

▼課題

- ・ 遊具付近の見守り強化を求める声があります。
- ・ 園庭・屋外環境をさらに安全にという職員の自覚がもっと必要かもしれません。先程の「命」に係わってくることなので・・・。（A25%・B75%）

△改善の方向性

- ・ 遊具エリアの「見守りポイント」をもっと明確にすることも必要かと思います。
- ・ 月次のヒヤリハット共有で保護者にも改善姿勢を可視化したらどうでしょうか。保護者も安心できるのではないのでしょうか。

Ⅳ. 保育内容・方法

子ども理解・言葉掛け・人権尊重は極めて高い水準で、職員の人権意識の高さを感じられます。（100%前後）ただし、職員・保護者ともに「遊ぶ時間」が不足しがちな点を課題視しています。

△強み

- ・ 一人ひとりの丁寧な対応がよくわかります。（A87%）
- ・ 子どもが園生活を楽しんでいる様子が想像できます。（A87%）
- ・ トラブル時の細やかな対応が多数称賛されています。職員や管理職の対応が共通理解・共有され、徹底されていると感じます。

▼課題

- ・ 自然体験が十分とは言えないようです。園の立地環境を考えると、これは厳しいですね。（A58%・B33%）

- 多忙により「遊びの確保」が難しいという職員の声があります。

△改善の方向性

- 保育計画に「遊びの確保率」を固定したらどうでしょうか。そのためには、事務処理等の業務改善が必要だと思います。
- 季節の自然体験を月1程度でルーティン化したらどうでしょうか。園外での体験となると、引率方法や安全対策を考えなければいけません・・・。

V. 食育

職員の自己評価は概ね良好ですが、「苦手食材への挑戦」の項目で伸びしろがありました。(A50%)

保護者は行事を通じた食文化体験に好印象ですね。餅つきや季節行事を通じた食文化体験など。

△改善の方向性

- 「食材チャレンジカード」など、達成感を見える化する仕掛けも有効だと思います。

VI. 保育士の役割・質向上

「質の基礎」は高いが、業務の優先順位付け・連携・研修の充実が課題として明確化されています。

▼課題（職員自己認識）

- 優先順位をつけられず「バタバタしてしまう」ことがある。
- 学年・係の連携不足を感じることもある。
- 保護者対応に迷う場面がある。
- 研修の取り組みは A33%・B50%・C17%とバラつきが見られる。

△改善の方向性

- 業務標準（SOP）の整備をしていく。「標準作業手順書」のことで、具体的な手順や作業内容を定めた指示書です。
- 月2回程の短時間研修（30分）で継続的に底上げを図っていく。本校でも実施していますが、なかなか好評です。
- 学年会において、「優先順位のすり合わせ」を意識的に組み込んでいく。

Ⅶ. 子育て支援

保護者への日常共有や相談体制は概ね肯定的ですが、情報共有のタイミングや方法で課題が見られます。

▼保護者の声

- 日常の様子が分からない。
- HP 更新・写真共有の頻度を増やしてほしい。
- 連絡チャンネルが複数で分かりにくい。

△改善の方向性 例えば，○○○。実施できそうなら，●●●。

- 週 1 写真+ひと言コメントの定時配信をしていく。
- 情報発信を「月便り+デジタル」の二本化する。
- 相談対応は“返信の目安時間”を設けていく。

Ⅷ. 地域住民や関係機関との連携

職員は「地域への情報発信」に改善の余地を認識しています。（A25%・B58%）

保護者からの大きな課題指摘はないようです。それだけ、園との信頼関係ができている現れだと感じています。

△改善の方向性

- 例えば、「ミニ公開日」（30分程）と称して、地域と顔を合わせる機会を創出していくことも、一つの手かなと思います。

X. 運営管理

守秘義務は100%順守されています。役割分担も概ね明確でよく管理されています。一方、保護者側では連絡のタイミング・ルールの分かりにくさが課題になっています。

△改善の方向性

- 連絡／撮影／観覧／時間運用と年間カレンダーの早期共有を保護者とし、対外的に示す必要がありそうです。
- 年間行事の終了予定時刻は「余裕幅」を持たせて事前に提示したらどうでしょうか。早く終わるぶんには、保護者からの意見は少ないと思います。

今後の重点改善案（園内で実施しやすい順に並べてみましたか？）

1. 連絡チャンネルの整理（紙・マチコミ・連絡帳の役割を明確化し、保護者に周知していく。）
2. 「週1フォト+ひとこと」「月1活動ハイライト」の定時化
3. 連絡／撮影／観覧／時間運用と年間カレンダーを紙媒体で作成し全家庭へ配付する。
※保護者への早期共通理解・ルール等の共有が必要だと思います。
4. 遊具エリアの見守りポイント設定とヒヤリハットを月次共有する。
5. 行事の順番・時間配分の見直し（事前に理由を説明して合意形成を図っていく。）
6. 係・学年ごとのSOP（標準作業手順書）の整備をする。
※来年度始めからは無理でも、1年を通して作成していく。
7. 職員向けの短時間研修の定期化（30分×月2回）
※長時間研修は、職員の負担にもなります。毎回、テーマ（内容）を事前に職員へ連絡しておくことで、研修に向かう姿勢も変わると思いますし、研修もスムーズにすすむと考えます。

おわりに

令和7年度のアンケート結果から、柏ひがし幼稚園は「安全・安心」「温かい保育」「一人ひとりへの丁寧なまなざし」において極めて高い評価を得ていることが明らかになっています。一方で、情報共有・行事運営・職員間連携など、園運営の“外側”に関わる部分で改善の余地がありそうです。しかし、これらは比較的取り組みやすく、園の価値をさらに高める可能性が高い領域であると考えます。次年度に向けて、園の強みを活かしつつ、改善策を段階的に導入することで、より一層満足度の高い幼稚園運営が期待できると思います。

園長先生や職員の皆様が子どもたちに向ける温かな眼差し、「子どもファースト」を感じる園の保育方針等が、柏ひがし幼稚園の大きな強みだと感じています。今後も、柏ひがし幼稚園が子どもたちはもちろん、職員の皆様が気持ちよく過ごせる場所であってほしいと願います。

最後になりますが、園におじゃまさせていただいたとき、先生方から気持ちの良いご挨拶をいただいたり、施設内をご案内していただいたりと、丁寧なご対応に感謝申し上げます。職員の皆様にもどうぞよろしくお伝えください。

まだまだ、気候が不安定な時期です。園長先生をはじめ教職員の皆様、どうぞご自愛ください。

2026. 2. 25

柏市立富勢西小学校

布施新町（自治会） 町会長 Y 様

令和7年度の学校評価委員の一人として、反省も含め私なりの感想を書いてみたいと思います。

今年度の柏ひがし幼稚園の行事において、運動会と発表会の行事に行かせていただきました。この2件への参加で、私の思う所を遠慮なく書かせていただきます。

これらの行事において共通した感想は、園長先生はじめ諸先生方が園児たちに向かい誠実且つ一生懸命対応されておられた事に誠に感心いたしました。

運動会についてですが、私の年代1日のイメージと比べると、父兄の方々が大変多く来られていた事で、運動の演技部分（エリア）が狭くなり子供達が着席しながら応援をできる様な状況が得られれば景色が変わる（園児が主役）様に感じました。

発表会についてですが、最初に年長さんの演技を見せて貰い、ほぼ全員が統制の取れた演技をされていたので大変驚きました。2番目に、年少さんの演技を見させて貰い、それぞれバラバラの演技（ほのぼのとした）で2年間の成長は凄いと感じました。その後、年中さんでした。まだ年少さんに近い動きがあちこちに見られ、まさに成長途中にあると感じました。私は、如何しても周りの友達（園児）と合わせず、本人思うがままの動き（演技）、サボタージュ（シャイな気持ちの子も含め）をする園児がつい目に飛び込んでいてしまいます。3年間過ごす、このような子供たちが目につかなくなり、私には少～し寂しい思いになりました。

“人間はいつの間にか成長をしていて、どこかでその様な素朴な人間性を無くしていくもの”と、久しぶりに感傷的になりました。

本当に先生方は大変だろうと改めて感じました。が、可能であれば人間が持つ、もって生まれた“個々人の個性（特にほのぼのとした素朴さ）”は、個々の子ども達に残してあげてほしいと願うばかりです。

外野席からの勝手な意見失礼申し上げます。

柏ひがし幼稚園 保護者の会 会長 Y様

2年間、学校関係者評価委員を務めさせていただきましたが、先生方の保育目標・方針などが昨年より自己評価が上がっていて、意識が同じ方を向いている印象を受けました。

私たちは先生方の日々の忙しい姿を見ているので、園の保育に大変満足していますが、更なる向上心を持ってくださっていることがわかりました。

ご自身のお身体のこと大切にしつつ、今後もより良い柏ひがし幼稚園をつくって欲しいです。

保護者のアンケートでは、行事に対する感謝や園の細かい気配りにお礼を述べている方が多く、大半の方が園の教育に満足されている印象を受けました。

年長になって、行事の練習に間がなく少し大変だな…と思う時期もありましたが、本番の練習の成果を見ると頑張ってやり遂げたという達成感を強く感じられました。

学校評価委員では校長先生や自治会長様のお話を聞くことで、園の保護者には考えもつかないようなご意見が聞けて、とても参考になりました。

つたない意見ですが、今年度も学校評価委員として参加させていただき勉強になりました。

ありがとうございました。

柏ひがし幼稚園 保護者の会 副会長 A 様

【先生方の自己評価結果について】

アンケート1について、子供達一人ひとりの個性に向き合い、成長させるために努力している、という内容の自己評価が目立ちました。保護者として、そして役員2年を通じて先生方の様子を見てきましたが、その熱意は十分に伝わります、実行できていると思えました。柏ひがし幼稚園の教育理念にもある「一人ひとりを大切にし、個性を豊かに育てる」を体現していると思えます。柏ひがし幼稚園の絶対的な魅力の一つだと思います。

第1回評価者会議の際にも発言しましたが、私は先生方の働き方を心配していました。

先生方の中で思うようにいかないことが必ずしも園児の成長できないことには繋がらないと思えます。園児のために、少しでも良い教育やイベントになるように取り組む姿勢と情熱には感謝し、尊敬しますが、毎日のように一日の大半を幼稚園の業務に費やして「病む」ことがないように祈ります。

アンケート2については、各ポジションで、「できなかった」の内容を各先生方と共有することが大切だと思えました。もちろんすでに実施済みかもしれませんが。それを受けてのアンケート3では、「来年度どう取り組むか」に対して、「話し合う、相談していきたい、工夫する」などの回答が印象的でしたが、あまり効果的な解決策ではない気がしました。それらを意識しつつもしっかり良い結果を出せる対策も必要だと思えます。例えば年に数回お休みをもらって、柏ひがし幼稚園内で研修や議論をする場を設けて問題の整理と対策の議論・相談するなどしてもよいかと感じました。(すでに実施済みかもしれませんが...)

とは言え、園児は十分すぎる教育・保育を受けていると感じています。頑張りすぎているようにも感じていたからこそ、意外にも先生方の中で、できないことに対する葛藤が多いことに驚きです。もっと誇ってほしいです。少なくとも、息子と娘はすごく成長できました!

【保護者アンケートの結果について】

ほぼほぼ、ポジティブな意見が多くて良かったです。しかしながら、否定・不満なコメントもあり、特に年少保護者において多いように思います。不満なアンケート回答の中には、なかなか厳しい?減茶苦茶な?意見もあるなあと、役員を2年務めた私にとっても驚きだったり、悔しくもあり複雑な気分でした。(アンケート10を含め)

否定的な意見の保護者の方はどこの幼稚園・保育園に所属していたとしても同じようなコメントをするのだろうなと思っています。不満なコメントはおそらく心配事や不安から出てくるものだと思いますが、保護者側でも努力できることがあると思います。園児同様、保護者も成長していければいいのですが。年長児保護者からは感謝や喜びのコメントが目立ちますが、先生方の努力や熱意、取り組み伝わっているからだと思います。今回否定的なコメントを記載した保護者の方も、そのうち先生方の想いがきっと伝わると信じています。

【さいごに】

役員として2年間、幼稚園を通して3年間、大変お世話になりました。3年前に遠方からの転園が決まり、初めて幼稚園に行ったのはまだ春休み期間の頃でした。体操服やスモック等の購入品の準備のために訪問しました。その際、対応してくださったのが寺山浩美園長先生だったのを今でも鮮明に覚えています。兄はすぐに新しい園に溶け込むことができましたが、当時年少だった妹は「早く前の幼稚園に戻ろうよ」と登園を渋ることが多々ありました。それでも素敵な友人や先生方の愛情や熱意のおかげで、かけがえのない幼稚園生活を送ることができました。また、役員活動を通して、先生方の取り組みや園の様子などを肌で感じることができ、引き受けてよかったと感じています。

幼稚園最後の年に、副会長という大役を任せましたが、役員の方々（特に会長、副会長）や先生方と親密にコミュニケーションをとれて楽しく活動することができました。ありがとうございました。

これからなかなか関わりが少なくなるのは非常に残念ですが、今後の柏ひがし幼稚園の発展と先生方のご多幸と、変わらない愛溢れる教育を心から祈っています。

柏ひがし幼稚園 保護者の会 副会長 O 様

先生方、いつも子どもたちのこと そして保護者のことを一番に考えて行動してくださり、まず感謝申し上げます。

今回、学校関係者評価委員に参加して、先生方のお気持ち、課題としていること、保護者側からの気持ちを知ることができました。保護者の方々はとても幼稚園に対して感謝の気持ちを持っていることが、アンケートからも読みとれます。先生方が、子どものことを良く見ている、丁寧で温かい対応をしていることを、沢山の保護者が評価し、園に対し信頼していることがわかります。また、子どもの安全を守るという点で、多くの保護者が幼稚園は子供たちの身を守ってくれると信頼していることがわかります。これは、普段行っている防災訓練や不審者訓練について、お手紙にて詳細に伝えて下さったことが安心感につながったと思います。

その反面、課題としては、“先生とのコミュニケーションが不足している”“園での子供の様子が分かりにくいと感じている”保護者がいることがあげられました。それらについては、子どもたちの様子を保護者に発信・伝える方法について検討し、保護者とは、コミュニケーションが取れている「つもり」にならないよう努力していきたいと先生方は仰っていました。具体的には、参観を増やして実際に保護者が園の様子を見る機会を増やしてはどうか、また、こちらからは園での様子を写真などで安全で負担のない形で発信することを今ままで以上に増やしてはどうか、ということを提案し、情報を発信することで保護者の信頼と安心感につながるということについて話し合いました。

実際、防災訓練などの子どもたちの身を守るための活動について、今年度が特別という事はなく今までも同じように訓練は行ってきたと先生が仰っていましたが、保護者に知らされる機会が少なかったため、保護者も行ってきたことを知らないということが、不安感につながった可能性もあったと思います。

情報を提供するという事は、保護者との信頼関係、安心感のためにも必要なことと感じます。

また、先生とのコミュニケーション不足については、こちらは特に新入園のお子さんを持つ保護者にとっては、子どもからも園の様子を聞くことが難しいため先生とのコミュニケーションはより必要とされるように感じます。そちらについても「もう少し保護者一人ひとりに寄り添いたい」と、改善しようとする意欲を先生方が示して下さい、今後より良くなっていくと期待されます。

私は以前の学校評価委員にも参加させていただきましたが、その際、他の委員の方が『園バスの

安全面について・昨今のバス車内園児置き去りの事件などについてどのような対応をしているか知りたい』と仰っていました。当時も、もちろん当然のように安全対策はとられていたかと思いますが、今年度は特に情報を提示して下さったことで、より安心することが出来ました。そして課題としてあがったことをしっかりと改善しているという姿勢を私は感じ“今後もそのように課題解決に尽力される”と、この一年で感じました。

ただ、アンケートを見ても保護者の価値観は多様化し、特にコロナ禍を経て行事に対する考えも様々だと感じ、全ての保護者に満足する行事の在り方は難しいと感じます。

親の参加方法・観覧の仕方についても、意見は様々で園側の調整はとても難しいのではと思うのですが、先生方はあきらめず保護者の声を粘り強く聞く姿勢でおられました。

ただ、ここで「行事は誰のものか」ということを改めて考えました。あくまでも子どもたちが主役で親自身もそれを自覚し、子どもたちを尊重して見守ることが必要と感じました。

私自身は、先生方は子どもたちの個性と理解しそれを活かす方法で行事に臨んでいる と、いつも思っています。先生方は、アンケートの回答でも改善を志し、より良い保育を目指していることがよくわかります。だから先生を信じて子供を託したいし、お任せしたい。しかし、そのためには、情報やコミュニケーションなどで保護者に確固たる安心感を与えることが大事と考えます。

最後に、本当にこの園は、温かく子どもにも保護者にも居場所を与えて下さいます。

その良さがもっと沢山の方に伝わりますよう願っております。先生方がずっと笑顔で働けますことも願っております。